

整理番号	2023P-	283	補助事業者名	社会福祉法人こころの窓
------	--------	-----	--------	-------------

別紙4 JKA補助事業 2023年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2023	年	10	月	26	日	作成者	田中研吾
-----	------	---	----	---	----	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	予定どおり、就労支援車両としてキッチンカー1台を整備できた。3社見積りで納車時期も計画どおりであった。10月から11月にかけて、関係者対象に販売実演を行い、今後の移動車販売や納品先への商品移送に活用していく。 ※ 申請時の事業グループの名称「vegetru」は新店舗の屋号となった「あおいどりのおかし」に改めた			採点	
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	3社見積りも問題なく実施でき、発注先の車両パッケージデザインや内装の施工も期待通りの出来栄で、期限内に納車、検取ができています。その他、計画、体制は予定通りである。			4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 2023年9月に導入	[達成状況] 100%	[具体的内容] 2023年8月30日の検取をもち事業完了。予定通り稼働開始した。	4
	事業の成果・波及	[達成値] 週4日	[達成状況] 80%	[具体的内容] 委託販売先等への納品使用は週3日以上稼働している。移動販売は10月、11月に関係者を対象とし6日間予定している。10月は本部施設の利用者対象、11月は関係者による本部施設見学会にての販売である。販売実演を経て接客を学び、今後の外販に繋げていく。	4
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1.機関紙 1回 2.法人HP 1回 3.インスタグラム 1回	[達成状況] 1. 90% 2. 100% 3. 100%	[具体的内容] 1.機関紙は年4回の発行で次月11月15日付で当該事業完了の報告を行う。目標値は450部でほぼ予定通りの発行数となる見込み。事業開始については5月発行の29号にて4月20日理事会決議報告として掲載した。2.9月8日付で事業完了報告記事をアップしている。直近1ヶ月のHP訪問者数は約1,000人で、実施目標値である年間延10,000人閲覧の月平均ペースを上回っており、競輪広報目標値の2カ月2,000人もほぼ達成している。3.フォロワー数は順調に伸び900人超に達しており、今後も当該事業関係記事を発信し閲覧者数増にむけ鋭意対応していく。	4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1.機関紙 1回 2.法人HP 2回	[達成状況] 1. 90% 2. 100%	[具体的内容] 1~2.上記の情報発信時には、常に競輪補助金による事業であることを明示した。また、インスタグラムのフォロワー数が増えてきており広報に役立っている。	4
(5) 自己評価の体制	理事長を責任者とし、事務局長、広報業務担当、実施体制担当の4者により、10月26日に第1次自己評価を実施した。〔評価過程の記録〕として議事録を添付し、評価結果は法人HPに掲載している。			4	

(b) 総合評価

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。		総合評価点	4
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	知的・発達障害をもつ方々の生きがいのある人生を後押しする事業整備を直接的な目的とした今回の補助事業について、本格的なキッチンカーの整備が、製菓事業メンバーの就業意欲、責任感の醸成に強く良い影響を及ぼしている。新店舗の開業もあり、製菓商品の売上は飛躍的に伸びており、工賃収入の増額も見込め、生活者としてのQOL向上について、そう遠くない時期に目に見える結果として表れると期待している。		
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	製菓販売については、コロナ禍であった申請時の社会状況とは一変した現状がある。途絶えていたイベント販売などが相次いで復活し、好条件の物件確保から急遽出店した新店舗の売上はたいへん好調である。その意味で販売戦略の練り直しがあり、販売先確保の活路としてのキッチンカー配備から、「あおいどりのおかし」ブランドを地域に浸透させるPR活用をも意識する。移動車販売イベントにも積極的に参加しつつ、ブランドを大いにアピールできるデザインとなっている車両パッケージを活かし、委託先への商品移送等も積極的に活用していき、地域住民の目に触れる機会を増やしていく。		
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	この度整備されたキッチンカーは、本年8月オープンの新店舗名もなった当製菓製造販売事業のブランド「あおいどりのおかし」、そのイメージを存分に表現した車体で、移動販売車としての本来機能はもちろんのこと、「走る広告塔」として大いに宣伝効果を発揮し存在感を示している。		

別紙 JKA補助事業 2023年度 事前計画/自己評価書(5/5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻害」欄に「*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費		
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
		(15) その他			
	*		(16) 特になし		